

10月の 園便り



30年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

絵本
ぽりーちゃんと
おおあめ」

新潟日報の“窓欄”に載った、当時（2014年）17歳の高校生の文章が気になって、ずっと取っておいた切抜きがでてきました、その文章の一部抜粋です「…そこに意志が伴わなければ植物とかかわらない…他人の敷いた路線の上をただ歩むだけの生となっていることが多いと思う、例えば、学校にしても、自分の行きたい所を諦め、親の言葉に従い定められた学校に進学する。社会人でも、自分の思いに反した仕事を、たとえ否定されると分かっているでも自分の考えを上司に伝えることもせずに、言われるままに仕事に取り組む…中略…私は思う、自らの意思を示す時だと、自らの意志を示してこそ、『今を生きる』ことができるのだと」

自分の意志を持ち、自分の進む道を自分で決める、大人になって社会に出たとしても自分の意志を表明して生きるという意見、とても難しいことだと思いますが、でも本当はそうありたいと思います。17歳にしてこのように考えることができるということに感動でした…「いや、そうじゃないだろう、17歳だからこう言えるんだろう…大人になったらそうはいかないさ」という声が聞こえてきそうですが、でも、自分で口にした言葉はいつも自分について回ってくるものですから、自分の言葉に自分が縛られていくのです。この投稿が載ってから4年ほどが経ちました、当時17歳だった投稿者は21歳、きっと、自分をしっかりと持ったいい生き方をしていることと思います。

高校生の頃、こんなことを考えもしなかった私、この投稿者は17歳までの過程で何を学んできたのだらうと思ったのです。どんな本を読み、周りの人たちは、何を語り掛け、どのように接していたのでしょうか。少なくとも、ご両親は、子どもの人生を自分の人生のごとくに押し付けたりはしなかったのだらうと思います。親と子は違う存在であり、子どもを「人格を持った一人の人間」として尊重して育てられたのだらうと思います。このことが大切だと分かっているにしても、子どもとの距離が近すぎて、つい、自分の願いを子どもに押しつけてしまうことがあります。私自身の反省も含めて今思うことは、子どもの今の姿をそのままに観て、子どもの想いを聞く、そして、自分が子どもだったころのことを思いだしながら…今、子どもにこうなって欲しいという願いを“そっと心の中で持つ”、しかし、その願いは、子どもが参考にする程度に、ごくたまにつぶやくくらいにとどめる、子どもが自分で、こうなりたいと願い、自分の進む道を決めることができるように…子どもたちが、大人の評価に合わせようとすることなく、自分がやりたいことや考えていることを相談できる大人として、子どもの傍にいたいと思います。脳科学者の茂木健一郎さんが「言葉は、脳の働きを通して、自分にかける「魔法」のようなものである」と言われてしまいました。子どもに“いい言葉”を伝えることができるように、私たち大人も本を読んだりして学び続けなくてはなりませんね。

10月の予定

日	曜	給食	降園時間	
1	月	○	2:00	園児募集開始です
2	火	○	2:00	
3	水	○	2:00	
4	木	青のみ	2:00	赤ばら・白ばらはどんぐり拾い、青ばらはマジックショーに出かけます（赤白お弁当）
5	金	赤白のみ	2:00	青ばらさんは、どんぐり拾いに出かけます。（青お弁当）
6	土	/	/	第2土曜日振替休日です
7	日	/	/	
8	月	/	/	
9	火	○	2:00	短期大学部実習生1班が入ります。よろしくお願いいたします
10	水	○	2:00	
11	木	○	2:00	
12	金	×	2:00	お弁当の日です。お手数をおかけいたしますがよろしくお願いいたします
13	土	×	/	
14	日	×	/	
15	月	/	/	振替休日 星の子は行きます、お仕事の方はご利用ください
16	火	○	2:00	短期大学部実習生2班が入ります。よろしくお願いいたします
17	水	×	11:30	誕生会、10月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう
18	木	○	2:00	
19	金	○	2:00	青陵高校生が職場体験に来ます
20	土	×	11:30	自由登園日です
21	日	/	/	
22	月	○	2:00	
23	火	○	2:00	白ばらさん・青ばらさんがサツマイモ堀にでかけます
24	水	○	2:00	白ばらさんは耳鼻科検診を行います。父母の会主催 青ばらさんと園長のお話会
25	木	○	2:00	（サツマイモ堀予備日）
26	金	○	2:00	
27	土	/	/	
28	日	/	/	
29	月	○	2:00	
30	火	○	2:00	
31	水	○	2:00	